

## 企業の持続可能性に関する最新情報

私たちは50年間、風味豊かなジャガイモを栽培し、美味しいポテト製品に加工してきました。Farm Fritesにおいて持続可能性は常に最優先の事項です。つまり、私たちのサプライチェーンは畑から始まり、農業の伝統を誇りに思い、手間暇をかけています。そして、Farm Fritesでは、自然と環境に良い影響を与えたいと考えています。私たちは、事業活動が環境に与える影響について責任を負う必要があることを常に理解しており、今後も継続し続けます。Farm Fritesは、より環境に配慮した、より持続可能な世界に貢献することを目指しています。

2020年、Farm Fritesは「Green Circles」、「CO<sub>2</sub>ニュートラルなフライドポテト」、「flowering field edges」、「帯状栽培」、「Living Nature Wall」、「solar park」などの活動を率先して構築、継続することで、サプライチェーンの中で持続可能なパートナーとなることに再び全力で取り組んでいます。これは持続可能性がFarm Fritesの優先事項であり、今後も継続していくことを示しています。また、将来に向けた進行中の野心も示しています。

### 気候変動と排出量\*

- 2025年までにエネルギー消費を5%削減し、2030年までには10%削減します
- 2025年までに再生可能エネルギーのシェアを15%に、2030年までに30%に増やします
- 2030年までに、製品1トンあたりの炭素排出量を50%削減します

### 持続可能な包材\*

- 2022年までに、包材を100%リサイクル可能にすることを目指しています
- 包材形態と輸送の最適化により、CO<sub>2</sub>排出量を削減します
- 明確なコミュニケーションを通じて、サプライチェーン全体およびエンドユーザー間のリサイクル行動を促進することを目指しています

### 持続可能な農業\*

- 2025年までに、調達するジャガイモの50%をFSAのゴールドレベルにします

### 水\*

- 2025年までに、工場における製品1トンあたりの水の消費量を15%削減し、2030年までには30%削減します

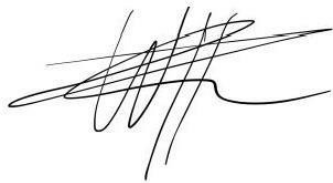
\*2018年と比較して

私たちにとってこれらの野心は、適切な監視と説明責任に密接に関連しています。そのため、私たちは通常、年次サステナビリティレポートを発行し、パートナーとの取り組みへの影響も明らかにしています。

今年度についてFarm Fritesは2020年の年次サステナビリティレポートを発行しないことを決定しました。新型コロナウイルス感染症は、世界中の外出産業に影響を及ぼし、製品需要の変動を引き起こしました。そのため、持続可能性への取り組みの結果について一貫した事実を示すことはできません。しかし、新型コロナウイルス感染症がもたらした課題は、長期的

な持続可能性の野心達成という私たちのコミットメントを変えるものではありません。今後もその成果を発信し、持続可能な世界を追求する私たちの立場を明確に示していきます。これは私たちのスタッフとサプライチェーン内のパートナー無しで行うことができません。持続可能性の分野に関わる彼らのたゆまぬ努力に感謝致します。現在も未来も、より環境問題意識を高め、共に持続可能な世界となるよう取り組んでいきましょう！

敬具

A handwritten signature in black ink, consisting of several overlapping, stylized strokes that form a unique, abstract shape.

Warden Zuketto

CEO Farm Frites International BV